

2019年度 中学1年

教科	社会科	科目	社会	単位数	3単位
コース	I類・II類		クラス	1・2組	
教科書	日本文教出版「中学社会 地理的分野」		帝国書院「中学校社会科地図」		
副教材	新学社「地理資料集」 教育開発出版「Keyワーク 地理I・II」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1学期中間	第1編 世界のさまざまな地域 1章 世界の姿 2章 世界各地の人々の生活と環境 3章 世界の諸地域 ① アジア州 ② ヨーロッパ州		<ul style="list-style-type: none"> 世界の州や大陸を学び、その位置関係を理解する。 地球儀や地図を学び、世界の略地図がかけられるようになる。 国境線や統計などから、世界の国に親しむ。 地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 		
1学期期末	3章 世界の諸地域 ③ アフリカ州 ④ 北アメリカ州 ⑤ 南アメリカ種 ⑥ オセアニア州 4章 世界のさまざまな地域の調査		<ul style="list-style-type: none"> 地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 地域調査を通して、日本との関係性や違いを理解する。 		
2学期中間	第2編 日本のさまざまな地域 1章 日本の姿 2章 世界からみた日本の姿 3章 日本の諸地域 ① 九州地方 ② 中国・四国地方		<ul style="list-style-type: none"> 自然や産業、人々の暮らしについて、地方ごとに学ぶ。 福岡を中心とした結びつき、九州各地の農業の違いを理解する。 山陰・瀬戸内・南四国の自然環境の違いや、各地の産業の特徴を理解する。 		
2学期期末	③ 近畿地方 ④ 中部地方 ⑤ 関東地方		<ul style="list-style-type: none"> 大阪を中心とした都市圏の発達や、歴史と観光について理解する。 自然や交通網と関連する、北陸・中央高地・東海地方の産業について理解する。 東京都心や大都市圏の特徴を学び、東京を中心とする産業構造を学ぶ。 		
学年末	⑥ 東北地方 ⑦ 北海道地方 4章 身近な地域の調査 (愛知県を例に)		<ul style="list-style-type: none"> 日本海側と太平洋側の対比を通して、自然や産業、交通について学ぶ。 自然や産業、人々の暮らしについて、地方ごとに学ぶ。 		
備考					
授業中に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。また、学習内容の理解を深めるために、問いを与えて、個人やグループで考えたり、発表する機会をつくり、論理的思考力や表現力も養う。					

2019年度 中学1年

教科	社会科	科目	社会	単位数	3単位
コース	Ⅲ類		クラス	3組	
教科書	日本文教出版「中学社会 地理的分野」 帝国書院「中学校社会科地図」				
副教材	新学社「地理資料集」 教育開発出版「Keyワーク 地理Ⅰ・Ⅱ」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第1編 世界のさまざまな地域 1章 世界の姿 2章 世界各地の人々の生活と環境 3章 世界の諸地域 ① アジア州 ② ヨーロッパ州		<ul style="list-style-type: none"> 世界の州や大陸を学び、その位置関係を理解する。 地球儀や地図を学び、世界の略地図がかかるようになる。 国境線や統計などから、世界の国に親しむ。 地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 		
1 学 期 期 末	3章 世界の諸地域 ③ アフリカ州 ④ 北アメリカ州 ⑤ 南アメリカ種 ⑥ オセアニア州 4章 世界のさまざまな地域の調査		<ul style="list-style-type: none"> 地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 地域調査を通して、日本との関係性や違いを理解する。 		
2 学 期 中 間	第2編 日本のさまざまな地域 1章 日本の姿 2章 世界からみた日本の姿 3章 日本の諸地域 ① 九州地方 ② 中国・四国地方		<ul style="list-style-type: none"> 自然や産業、人々の暮らしについて、地方ごとに学ぶ。 福岡を中心とした結びつき、九州各地の農業の違いを理解する。 山陰・瀬戸内・南四国の自然環境の違いや、各地の産業の特徴を理解する。 		
2 学 期 期 末	③ 近畿地方 ④ 中部地方 ⑤ 関東地方		<ul style="list-style-type: none"> 大阪を中心とした都市圏の発達や、歴史と観光について理解する。 自然や交通網と関連する、北陸・中央高地・東海地方の産業について理解する。 東京都心や大都市圏の特徴を学び、東京を中心とする産業構造を学ぶ。 		
学 年 末	⑥ 東北地方 ⑦ 北海道地方 4章 身近な地域の調査 (愛知県を例に)		<ul style="list-style-type: none"> 日本海側と太平洋側の対比を通して、自然や産業、交通について学ぶ。 自然や産業、人々の暮らしについて、地方ごとに学ぶ。 		
備考					
<p>授業中に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。また、学習内容の理解を深めるために、各自で問いを設定し、個人やグループで考え、それを発表する機会をつくり、論理的思考力や表現力も身につける。</p>					

2019年度 中学2年

教科	社会科	科目	社会1	単位数	2単位
コース	I類・II類		クラス	1・2組	
教科書	日本文教出版「中学社会 地理的分野」 帝国書院「中学校社会科地図」				
副教材	新学社「地理資料集」 教育開発出版「Keyワーク 地理I・II」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第2編 日本のさまざまな地域 3章 日本の諸地域 ⑦ 北海道地方 2章 世界からみた日本の姿 ② 人口からみた日本		<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と結びつく北海道のくらしと産業について理解する。 ・人口問題について、世界と日本を比較して学ぶ。 		
1 学 期 期 末	③ 資源・エネルギーと産業からみた日本 ④ 結びつきからみた日本 第1編 世界のさまざまな地域 2章 世界各地の人々の生活と環境		<ul style="list-style-type: none"> ・資源、産業、地域間の結びつきについて、世界と日本を比較して学ぶ。 ・世界各地の生活文化を知り、違いが生まれる背景について学ぶ。 		
2 学 期 中 間	3章 世界の諸地域 ①アジア州 ③アフリカ州		<ul style="list-style-type: none"> ・地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 		
2 学 期 期 末	②ヨーロッパ州 ④北アメリカ州		<ul style="list-style-type: none"> ・地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 		
学 年 末	⑤南アメリカ州 ⑥オセアニア州		<ul style="list-style-type: none"> ・地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 		
備考					
授業中に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。また、学習内容の理解を深めるために、問いを与えて、個人やグループで考えたり、発表する機会をつくり、論理的思考力や表現力も養う。					

2019年度 中学2年

教科	社会科	科目	社会1	単位数	2単位
コース	Ⅲ類		クラス	3組	
教科書	日本文教出版「中学社会 地理的分野」 帝国書院「中学校社会科地図」				
副教材	新学社「地理資料集」 教育開発出版「Keyワーク 地理Ⅰ・Ⅱ」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第2編 日本のさまざまな地域 3章 日本の諸地域 ⑦ 北海道地方 2章 世界からみた日本の姿 ② 人口からみた日本		<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と結びつく北海道のくらしと産業について理解する。 ・人口問題について、世界と日本を比較して学ぶ。 		
1 学 期 期 末	③ 資源・エネルギーと産業からみた日本 ④ 結びつきからみた日本 第1編 世界のさまざまな地域 2章 世界各地の人々の生活と環境		<ul style="list-style-type: none"> ・資源、産業、地域間の結びつきについて、世界と日本を比較して学ぶ。 ・世界各地の生活文化を知り、違いが生まれる背景について学ぶ。 		
2 学 期 中 間	3章 世界の諸地域 ①アジア州 ③アフリカ州		<ul style="list-style-type: none"> ・地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 		
2 学 期 期 末	②ヨーロッパ州 ④北アメリカ州		<ul style="list-style-type: none"> ・地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 		
学 年 末	⑤南アメリカ州 ⑥オセアニア州		<ul style="list-style-type: none"> ・地誌の学習を通して、人々の暮らしや産業、日本との関係について理解する。 		
備考					
授業中に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。また、学習内容の理解を深めるために、各自で問いを設定し、個人やグループで考え、それを発表する機会をつくり、論理的思考力や表現力も身につける。					

2019年度 中学2年

教科	社会科	科目	社会2	単位数	2単位
コース	I類・II類		クラス	1・2組	
教科書	日本文教出版「中学社会 歴史的分野」				
副教材	浜島書店「よみとき総合歴史」 教育開発出版「Keyワーク 歴史I・II」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第4章 近世の日本 2節 江戸幕府の成立と鎖国 1 江戸幕府の成立と支配の仕組み 2 さまざまな身分と暮らし 3 貿易の振興から鎖国へ 4 鎖国下の対外政策 3節 産業の発達と幕府政治の動き 1 農業や諸産業の発達 2 交通路の整備と都市の繁栄		<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と、そのしくみについて理解する。 江戸時代の身分制度と百姓・町人の生活の様子について理解する。 朱印船貿易の奨励から鎖国体制への移行、また鎖国体制下での隣接地域との関係について理解する。 江戸時代の農業・商業・交通網の発達などについて理解する。 		
1 学 期 期 末	3 幕府政治の安定と元禄文化 4 享保の改革と社会の変化 5 田沼の政治と寛政の改革 6 新しい学問と化政文化 7 外国船の出現と天保の改革		<ul style="list-style-type: none"> 徳川綱吉の時代の政治と文化について理解する。 徳川吉宗、田沼意次、松平定信の時代の政治と文化について理解する。 農村への貨幣経済の浸透を理解する。 江戸時代の学問や教育、化政文化の特徴について理解する。 日本沿岸への欧米諸国の接近とその対応、水野忠邦の改革、諸藩の改革について理解する。 		
2 学 期 中 間	第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国 1 近代革命の時代 2 産業革命と19世紀のヨーロッパ 3 ロシアとアメリカの発展 4 ヨーロッパのアジア侵略 5 開国と不平等条約 6 尊王攘夷運動と開国の影響 7 江戸幕府の滅亡		<ul style="list-style-type: none"> イギリスやフランスの革命とその影響、アメリカの独立、啓蒙思想について理解する。 産業革命と資本主義の成立、イギリスとドイツの発展について理解する。 ロシアの拡大と、南北戦争を経てアメリカが発展していく過程を理解する。 イギリスによるインドの植民地化、アヘン戦争とその後の中国について理解する。 ペリーの来航から江戸幕府の滅亡までの過程を理解する。 		
2 学 期 期 末	2節 明治維新 1 新政府の成立 2 明治維新の三大改革 3 富国強兵と文明開化 4 近代的な国際関係 5 国境と領土の確定 6 自由民権運動の高まり 7 立憲制国家の成立		<ul style="list-style-type: none"> 明治政府による政策や近代化、文明開化による人々の生活様式の変化などを理解する。 日本の領土の画定、中国・朝鮮・ロシアとの明治初期の外交について理解する。 士族の反乱、自由民権運動、大日本帝国憲法の発布、議会の開設について理解する。 		
学 年 末	3節 日清・日露戦争と近代産業 1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成		<ul style="list-style-type: none"> 不平等条約改正の過程を理解する。 日清戦争と日露戦争について、その原因と結果を理解する。 韓国併合と中国民国の成立について理解する。 日本の産業革命と、明治時代の文化の特徴について理解する。 		
備考					
授業中に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。また、学習内容の理解を深めるために、問いを与えて、個人やグループで考えたり、発表する機会をつくり、論理的思考力や表現力も養う。					

2019年度 中学2年

教科	社会科	科目	社会2	単位数	2単位
コース	Ⅲ類		クラス	3組	
教科書	日本文教出版「中学社会 歴史的分野」				
副教材	浜島書店「よみとき総合歴史」 教育開発出版「Keyワーク 歴史Ⅰ・Ⅱ」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第4章 近世の日本 2節 江戸幕府の成立と鎖国 1 江戸幕府の成立と支配の仕組み 2 さまざまな身分と暮らし 3 貿易の振興から鎖国へ 4 鎖国下の対外政策 3節 産業の発達と幕府政治の動き 1 農業や諸産業の発達 2 交通路の整備と都市の繁栄		<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と、そのしくみについて理解する。 江戸時代の身分制度と百姓・町人の生活の様子について理解する。 朱印船貿易の奨励から鎖国体制への移行、また鎖国体制下での隣接地域との関係について理解する。 江戸時代の農業・商業・交通網の発達などについて理解する。 		
1 学 期 期 末	3 幕府政治の安定と元禄文化 4 享保の改革と社会の変化 5 田沼の政治と寛政の改革 6 新しい学問と化政文化 7 外国船の出現と天保の改革		<ul style="list-style-type: none"> 徳川綱吉の時代の政治と文化について理解する。 徳川吉宗、田沼意次、松平定信の時代の政治と文化について理解する。 農村への貨幣経済の浸透を理解する。 江戸時代の学問や教育、化政文化の特徴について理解する。 日本沿岸への欧米諸国の接近とその対応、水野忠邦の改革、諸藩の改革について理解する。 		
2 学 期 中 間	第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国 1 近代革命の時代 2 産業革命と19世紀のヨーロッパ 3 ロシアとアメリカの発展 4 ヨーロッパのアジア侵略 5 開国と不平等条約 6 尊王攘夷運動と開国の影響 7 江戸幕府の滅亡		<ul style="list-style-type: none"> イギリスやフランスの革命とその影響、アメリカの独立、啓蒙思想について理解する。 産業革命と資本主義の成立、イギリスとドイツの発展について理解する。 ロシアの拡大と、南北戦争を経てアメリカが発展していく過程を理解する。 イギリスによるインドの植民地化、アヘン戦争とその後の中国について理解する。 ペリーの来航から江戸幕府の滅亡までの過程を理解する。 		
2 学 期 期 末	2節 明治維新 1 新政府の成立 2 明治維新の三大改革 3 富国強兵と文明開化 4 近代的な国際関係 5 国境と領土の確定 6 自由民権運動の高まり 7 立憲制国家の成立		<ul style="list-style-type: none"> 明治政府による政策や近代化、文明開化による人々の生活様式の変化などを理解する。 日本の領土の画定、中国・朝鮮・ロシアとの明治初期の外交について理解する。 士族の反乱、自由民権運動、大日本帝国憲法の発布、議会の開設について理解する。 		
学 年 末	3節 日清・日露戦争と近代産業 1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成		<ul style="list-style-type: none"> 不平等条約改正の過程を理解する。 日清戦争と日露戦争について、その原因と結果を理解する。 韓国併合と中国民国の成立について理解する。 日本の産業革命と、明治時代の文化の特徴について理解する。 		
備考					
<p>授業中に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。また、学習内容の理解を深めるために、各自で問いを設定し、個人やグループで考え、それを発表する機会をつくり、論理的思考力や表現力も身につける。</p>					

2019年度 中学3年

教科	社会科	科目	社会	単位数	4単位
コース	未来創造コース		クラス	1・2組	
教科書	東京書籍「新しい社会 歴史」 東京書籍「新しい社会 公民」				
副教材	浜島書店「よみとき 総合歴史」 浜島書店「新しい公民」 教育開発出版「Key ワーク 歴史Ⅱ 東京書籍版」 文理「実力錬成テキスト」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	<歴史分野> 第6章 二度の世界大戦と日本 2節 世界恐慌と日本の中国侵略 3節 第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の発展と国際社会 2節 新たな時代の日本と世界		・世界恐慌～第二次世界大戦期の世界や日本の動きについて理解する。 ・戦後の日本と世界の動きについて理解する。		
1 学 期 期 末	<公民分野> 第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障		・人権思想について、その確立過程と広がりを理解する。 ・国民主権、平和主義、基本的人権などの学習を通して、日本国憲法の特徴について理解する。		
2 学 期 中 間	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち		・選挙や政党、国会、内閣、裁判所、地方自治などを通して、日本の政治のしくみを理解する。		
2 学 期 期 末	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済 2節 生産と労働 3節 価格と働きと金融		・消費や流通、株式会社の仕組み、労働者の権利、価格の働き、金融などを通して、私たちの暮らしと経済活動との関わりについて理解する。		
学 年 末	4節 政府の役割と国民の福祉 5節 これからの経済と社会 第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本		・経済における政府の役割、社会保障制度、公害問題、貿易と為替の関係などについて理解する。 ・国際社会のしくみや、地球環境問題などの国際問題を理解する。		
備考					
授業中に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。また、学習内容の理解を深めるために、問いを与えて、個人やグループで考えたり、発表する機会をつくり、論理的思考力や表現力も養う。					

2019年度 中学3年

教科	社会科	科目	社会	単位数	4単位
コース	Will-Frontier コース		クラス	3組	
教科書	東京書籍「新しい社会 歴史」 東京書籍「新しい社会 公民」				
副教材	浜島書店「よみとき 総合歴史」 浜島書店「新しい公民」 教育開発出版「Key ワーク 歴史Ⅱ 東京書籍版」 文理「実力錬成テキスト」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	<歴史分野> 第6章 二度の世界大戦と日本 2節 世界恐慌と日本の中国侵略 3節 第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の発展と国際社会 2節 新たな時代の日本と世界		・世界恐慌～第二次世界大戦期の世界や日本の動きについて理解する。 ・この時期の世界や日本の動きを自分の言葉で説明できる。 ・戦後の日本と世界の動きについて理解する。		
1 学 期 期 末	<公民分野> 第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障		・人権思想について、その確立過程と広がりを理解する。 ・国民主権、平和主義、基本的人権などの学習を通して、日本国憲法の特徴について理解する。 ・憲法に関わる問題点を考える。		
2 学 期 中 間	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち		・選挙や政党、国会、内閣、裁判所、地方自治などを通して、日本の政治のしくみを理解する。 ・日本の政治の問題点を考える。		
2 学 期 期 末	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済 2節 生産と労働 3節 価格と働きと金融		・消費や流通、株式会社の仕組み、労働者の権利、価格の働き、金融などを通して、私たちの暮らしと経済活動との関わりについて理解する。 ・私たちの暮らしに関わる経済活動の問題点について考える。		
学 年 末	4節 政府の役割と国民の福祉 5節 これからの経済と社会 第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本		・経済における政府の役割、社会保障制度、公害問題、貿易と為替の関係などについて理解する。 ・国際社会のしくみや、地球環境問題などの国際問題を理解する。 ・日本経済の問題点や現代社会の問題点について考える。		
備考					
授業中に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。また、学習内容の理解を深めるために、各自で問いを設定し、個人やグループで考え、それを発表する機会をつくり、論理的思考力や表現力も身につける。					